

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

令和元年 8 月 26 日

審査機関名 リテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラからヒートポンプへの更新プロジェクト
承認番号	JCDM-PJKC0880
排出削減事業者名	株式会社サラダファーム
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン
事業実施場所	株式会社サラダファーム 10号ハウス (住所) 岩手県八幡平市平笠第2地割6番地8
事業の概要	A 重油ボイラからヒートポンプに更新する。高効率化によって省エネルギーを図るとともに、A 重油よりも低炭素な燃料である電力に転換することにより、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2011 年度 80 tCO2/年 2012 年度 80 tCO2/年 2013 年度 52tCO2/年 2014 年度 54tCO2/年 2015 年度 57tCO2/年 2016 年度 58tCO2/年 2017 年度 61tCO2/年 2018 年度 61tCO2/年 (事業実施期間合計 503tCO2)
認証期間	開始日 2011 年 4 月 1 日 終了予定日 2019 年 3 月 31 日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2019 年 3 月 31 日となっている。

排出削減方法論	方法論番号 004 空調設備の更新
---------	-------------------

2. 本実績確認の対象期間

2016年5月19日～2019年3月31日（第5回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	101tCO ₂ （2016年5月19日～2019年3月31日）
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため該当しない。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働の確認 更新されたヒートポンプは実績確認期間中、継続的に稼働していることを電力使用集計表及び関係者へのヒアリング及び現地視察にて確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>1) モニタリング方法の確認 電力会社からの請求書を元に集計されていることを、証拠との突合、検算などにより確認し、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り単位発熱量、単位発熱量あたりのCO₂ 排出係数等のモニタリングが実施されていることを確認した。</p> <p>又、本件は簡易モニタリング方法を適用し、ベースライン電力の推定誤差が適切に算定され、誤差が5%未満であることを確認している。</p>

	<p>2) 活動量の正確性 電力会社からの請求書の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、ヒートポンプによる電力使用量の記録・保存が適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.4により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果を電力会社からの請求書と集計表との突合、さらに計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	今回の実績確認対象期間は2016年5月19日から2019年3月31日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2019年3月31日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量は、原油換算 22.3 kL、熱量換算 865 GJであることを確認した。

以上